

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	−55℃ ~ +85℃	保存温度範囲	−10℃ ~ +60℃（梱包材含む）	
	電 圧	A C 50V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下（結露しないこと）	
	電 流	信号：0.5 A 電源：使用条件別のデレティン がカーブによる			
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA（DC OR 1000 Hz）以下で測定する。	60mΩ以下 ※導体抵抗を含む。 （嵌相手：IT3-200S-BGA）	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 100Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐 電 圧	AC150Vの電圧を1分間印加する。 （漏洩電流2mA以下）	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機 械 的 性 能	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	挿入力 90 N以下 抜去力 10 N以上	○	—
	繰 り 返 し 動 作	100回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗変化量：20 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ~ 55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて 上下の基板固定する	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて 上下の基板固定する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 °C、相対湿度 90~95 %中に 96時間放置する。	① 接触抵抗変化量：20 mΩ以下 ② 絶縁抵抗：100 MΩ 以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 −55→+15~+35→+85→+15~+35 °C 時間 30→ 2~3 → 30→ 2~3 分 を 5 サイクル試験する。		○	—
	耐熱性	温度 85 °C中に 96 時間放置する。	①接触抵抗変化量：20 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 −55 °C中に 96 時間放置する。		○	—
	塩水噴霧	濃度 5% の塩水、48 時間放置する。	① 接触抵抗変化量：20 mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	二酸化硫黄 〔JIS C 0090〕	温度 40 °C、相対湿度 80±5% 濃度 25±5ppmに 96 時間放置する。		○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	MK. EZAKI	14.10.01
			検 図	TS. OSHIDA	14.10.01
			担 当	TF. SUGAWARA	14.10.01
			製 図	TF. SUGAWARA	14.10.01
試験規格の記載のない試験方法は「JIS C 5402（IEC-60512）」を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-330096-01	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	IT3-200P-35H (03)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL636-0240-3-03	△ 1/1